

## 学生の確保の見通し等を記載した書類

### (1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取り組み状況

#### ①学生の確保の見通し

##### ア 定員充足の見通し

2018年度以降の大学院博士前期課程および博士後期課程の志願者数、入学者数および定員充足率は、表1のとおりである。今回、これまでの定員をそれぞれ50%減少させることに加えて、学部3年生に向けた飛び級入試の広報活動の普及、奨学金の新設、本学および他大学の学部4年生に向けた大学院博士前期課程への進学相談会の充実を行うことで、定員が充足される見通しである。

表1 志願者数、入学者数および定員充足率

#### 博士前期課程

年度	定員	志願者数	入学者数	入学定員充足率
2018年度	20名	10名	6名	30%
2019年度	20名	12名	10名	50%
2020年度	20名	7名	5名	25%
2021年度	20名	4名	2名	10%
2022年度	20名	4名	4名	20%
2023年度予定	10名	---	---	---

#### 博士後期課程

年度	定員	志願者数	入学者数	入学定員充足率
2018年度	10名	1名	0名	0%
2019年度	10名	1名	0名	0%
2020年度	10名	1名	0名	0%
2021年度	10名	0名	0名	0%
2022年度	10名	0名	0名	0%
2023年度予定	5名	---	---	---

##### イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

2018年度以降、大学院博士前期課程では定員充足率が50%を超えていない。博士後期課程においては、志願者が0名という状態である。このような中で、博士前期課程の定員を50%減少させることで、定員充足率の改善が期待できる。博士後期課程においては、博士前期課程の学生の更なる研究継続を促すとともに、今後も、継続的に志願者の確保に尽力することで、定員充足率を高める努力を行う。

## ②学生確保に向けた具体的な取り組み状況

経営学研究科では、教育と研究の指導体制の強化（学生1名に対して指導教員以外に2名の副指導教員を配置して、きめ細やかな学生指導）、大学院進学相談会の実施、広報活動を通して、学生確保のための取り組みを行ってきた。今後もこれらの取り組みを継続して行い、専攻の特色やきめ細やかな指導体制を積極的にPRして、学生確保に努める。

## (2) 人材需要の動向等社会の要請

### ①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

定員を変更する経営学研究科博士前期課程および後期課程の「人材の養成・教育研究上の目的」は、次のとおりである。

#### ○経営学研究科博士前期課程

経営学専攻博士前期課程は、建学の精神である「行学一体・報恩感謝」に則った「理論と実践」を教育理念として、経営分野で指導的役割を果たす研究者や高度専門職業人を養成することを人材養成の目的とします。そのための教育研究上の目的は、学部で培った「理論と実践」教育を発展させて、企業経営における 企画立案・業務遂行・内部統制といった PLAN、DO、SEE の高度な専門教育を行い、個々の学生の能力開発およびキャリアアップ、キャリア転換を支援することとします。

#### ○経営学研究科博士後期課程

経営学専攻博士後期課程は、建学の精神である「行学一体・報恩感謝」に則った「理論と実践」を教育理念として、博士前期課程での研究成果を基礎として、経営分野で一層高度の知識をもとに活躍できる研究者や高度専門職業人を養成することを人材養成の目的とします。そのための教育研究上の目的は、博士前期課程で培った「理論と実践」教育をさらに発展させて、グローバル社会における企業環境の変化に対応してデータサイエンス技術を用いた分析能力とその実践への活用能力の習得を支援することとします。

### ②上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

大学院経営学研究科の博士前期課程は1993年に、博士後期課程は1994年に設置されていて、30年近い歴史を有している。大学院経営学研究科では、これまで学部を卒業した税理士志望の多くの学生および留学生を受け入れてきて、税理士志望の学生の多くは、現在、名古屋税理士会および東海税理士会を中心に活躍している。留学生は、本国へ帰国して大学で教鞭をとっている者や、本国および日本において社会人として活躍している者が多い。経営学研究科の博士前期課程では、今後も、本学の学部出身

者や大学の近辺で働く社会人を対象としたリカレント教育および税理士志望の入学者への高度専門職業人教育に力を注ぐのと同時に、現在ではコロナウィルス感染症拡大の影響もあり留学生数が急減しているが、留学生の確保と留学生への経営学教育に力を注いでいく。